



# 付録基板を動かしてみよう

内藤 竜治  
Ryuji Naitou

本章では、78K0 USBマイコン基板(付録基板)をUSBデバイスとしてパソコンにインストールし、マイコンにプログラムを書き込んで動作させる方法について説明します。

### 付録基板を動かすまで

袋から取り出したら、さっそく付録基板を動かしてみましょう。

付録基板を最初に動かすまでのステップは、おおよそ次のようになります。

- ① 袋から取り出してパソコンのUSBポートに挿入
- ② 付録CD-ROMも取り出してパソコンに挿入
- ③ デバイス・ドライバをインストール
- ④ トラ技BIOSを動かしてみる
- ⑤ サンプル・プログラムをマイコンにダウンロードして動かしてみる

本章では、これらのステップについて詳しく解説していきます。

#### ● Windowsパソコンを用意する

USBポートとCD-ROMドライブが付いていてマイクロソフトのWindows 2000またはWindows XPが

動作しているパソコンを用意してください。

#### ▶ Windows 2000とWindows XP Professionalでは管理者権限が必要

用意したパソコンに対してAdministrator(管理者)権限が必要です。管理者権限を持っていないとデバイス・ドライバがインストールできないので、付録基板を使えるようになりません。

以下の説明は、管理者権限を持つユーザとしてログインした場合です。Windows XP Home Editionでは気にする必要はありません。

#### ● 付録基板をUSBでパソコンと通信できる状態にする

##### ▶ 付録基板をUSBポートに挿し込む

パソコンのUSBポートに付録基板を挿し込みます。図1のようなダイアログ画面が現れて、デバイス・ドライバのインストールが始まります。

図1のダイアログでは「いいえ、今回は接続しません」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

すると、図2の画面が現れます。この画面では「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。

次の図3の画面では「次の場所を含める」にチェックを入れ、デバイス・ドライバのあるフォルダを指定

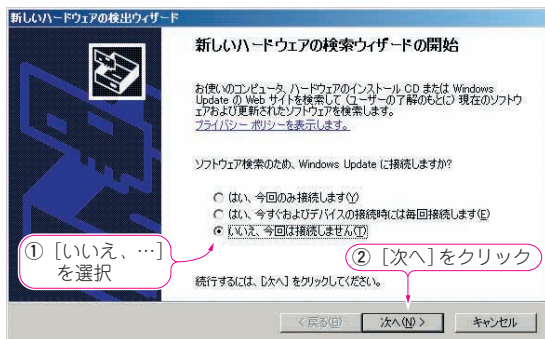


図1 デバイス・ドライバのインストール画面①  
付録基板をUSBポートに挿し込むと表示される

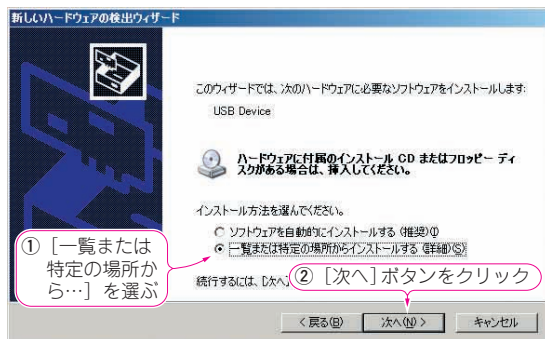


図2 デバイス・ドライバのインストール画面②  
必要なソフトウェア(デバイス・ドライバ)は付録CD-ROMから読み込む必要があるため、「一覧または特定の場所...」を選ぶ

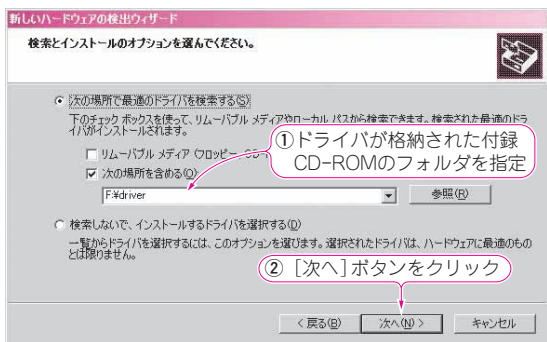


図3 デバイス・ドライバのインストール画面③  
付録CD-ROMのデバイス・ドライバが格納されたフォルダを指定する



図5 デバイス・ドライバのインストール画面⑤  
デバイス・ドライバがインストールされているのでしばらく待つ

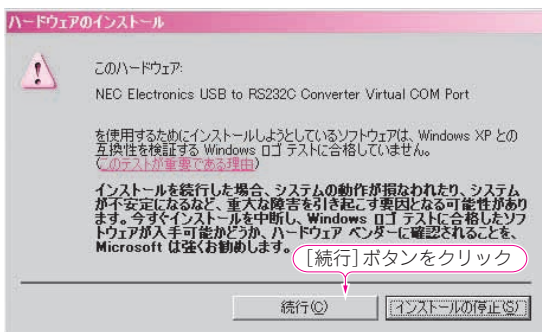


図4 デバイス・ドライバのインストール画面④  
[続行] ボタンをクリック

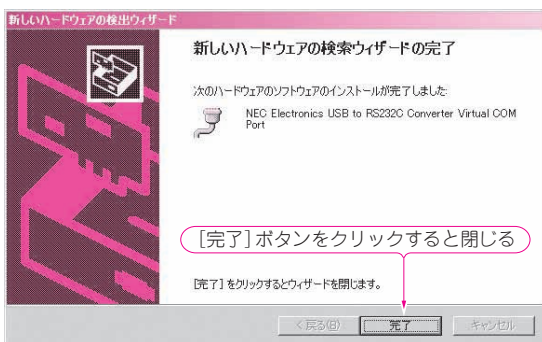


図6 デバイス・ドライバのインストール画面⑥  
インストールが完了したことを示す表示

します。ここで、付録のCD-ROMが必要です。

### ▶ 付録CD-ROMをドライブに入れてフォルダを指定

付録基板用のデバイス・ドライバは、本誌付録CD-ROMの **driver** フォルダにあります。付録CD-ROMをドライブに入れて、図3の [参照] ボタンをクリックし、CD-ROMドライブの中のdriverフォルダを選んでください。

ここで指定するのはファイルではなく、ファイルのあるフォルダです。フォルダを指定すれば、中にある **INF** ファイルを自動的に検索してくれるからです。

### ▶ ドライバをインストールする

次に、図4の画面が現れます。この警告は「今からインストールしようとしているデバイス・ドライバをインストールして何か問題が起きても自己責任です」と言っています。いかにも自作機器をインストールさせたくなさそうな文章です。ここで [インストールの停止] をクリックしてはインストールができないので、もちろん [続行] ボタンをクリックします。

図1～図4の画面と設定は、USB機器を使う場合に必要となります。自作機器や産業機器では避けては通ることができない画面と設定です。

ここまで終わったら図5の画面になり、インストールが行われます。完了すると図6の画面になります。

これで付録基板が**仮想COMポート**としてインストールされました。ダイアログ画面は、図6の [完了] ボタンをクリックすると閉じます。

### ● 付録基板がWindowsに認識されたかどうかを確認

次に、デバイス・ドライバが正しくインストールされ、付録基板がパソコンから正しく認識されているかどうかを確認してみましょう。

### ▶ システムのプロパティを開く

作業としては、『スタート・メニューの中からマイコンピュータのプロパティを開いてください』ということになるのですが、「マイ コンピュータのプロパティって何?」と戸惑う方もいらっしゃると思います。

Windows XPでは、画面左下にある [スタート] と書かれたボタンを押してください。図7のような画面が現れたらマイ コンピュータと書かれたところにマウスを移動させ、右クリックします。そしてプロパティと書かれた項目を開いてください。

Windows XPのスタート・メニューをクラシック・スタイルに変更している場合、あるいはWindows 2000を使っている場合は、図8のように画面左上にある「マイ コンピュータ」のアイコンを右クリックし、プロパティを開いてください。